

災害時帰宅困難者支援活動 エイドステーション設営訓練



2016年1月23日フルスケール訓練

訓練日時: 2022年1月23日(日曜日)11時 想定発災後 14時30分ごろまで

場 所: 小田急線 座間駅前広場 「ざまにわ」



大規模災害が発生すると、多くの帰宅困難者が出ることが予想されます。

2011年3月11日の東日本大震災時にも多くの人々が、何時も使っている交通経路を使うことができないために、駅やまちなかで帰宅できないために苦勞をしました。このことから、首都圏の主要自治体は、企業などに災害直後には帰宅させることなくそれぞれの企業内で留めることの要請を出しました。現実には、買い物や通院、所用で外出する人も多くいます。このような人々が少しでも安全に帰宅または滞留するための支援をするために「エイドステーション」が必要です。

座間市・NPOざま災害ボランティアネットワーク・(一社)座間青年会議所が小田急線座間駅前広場「ざまにわ」にて、「エイドステーション設営訓練」を行います。

ぜひ、訓練を見学されてアンケートなどをいただくと今後の取り組みに生かせると思います。

この訓練は、座間市とNPOざま災害ボランティアネットワークの「協働事業」として毎年、1月23日午前11時を期して行われる 第10回「座間市いっせい防災行動訓練」のプラスワンとしての取り組みとして行われます。

「エイドステーション」という用語は、トライアスロンや山野を駆け抜けるアドベンチャースポーツの場で競技者へのサポートを担う場所として人々に知られるようになりました。

実はその原型となるものは、天正十年（1582年）6月2日、秀吉が毛利攻めに出陣中に明智光秀が本能寺で信長を討った「本能寺の変」が起きました。

秀吉は知らせを聞き光秀討伐のために四国路から大阪の山崎へ取って返し闘って、光秀を討伐して豊臣の天下を実現しました。後に「中国大返し」の作戦と呼ばれますがこれの成功を支えたのが、道中に備えた補給所だったとされています。戦いには「補給・休養・衛生」が必須であることを見事に証明したといわれています。

ナポレオンもヨーロッパ各地で戦いをしてきましたが、負傷した兵や疲れた兵を休養をさせ食事を与え又治療を行う小さな野戦兵站所を作ったことがナポレオン軍を強くさせたといわれています。

残念ながら、明治以降の我が国の作戦思想には、「補給」より「精神論」が優先したために、時間をかけて育成した貴重な兵士の命が失われてしまったという指摘もあります。

災害時にも被災者をサポートして自宅に安全に戻すためにエイドステーションが必要だと思います。

1995年1月17日に発災した「阪神大震災」の中でも、壊れた神戸地区の避難所で生活をしながら、大阪へ往復する市民の足を確保するために有効に機能したと伝わっています。1月の寒中に神戸の避難所から交通機関が機能している駅まで徒歩や自転車、バイクなどで向かい大阪市内の職場で働き、神戸の避難所へ戻る人々が多くいました。震災の中から立ち上がるには「お金」が必要でした。このような人々に、温かいお茶や、疲れた体を休める仮小屋ができました。損傷を受けた道路には様々なものが落ちていて自転車やバイクが走ると「パンク」が多発しました。これらの自転車やバイクの軽度の修理、タイヤへの空気の充てん作業をしていたボランティアもいました。まさしく「いのちを救う場所」エイドステーションだと思います。本当に助かったという報告が挙げられています。

3・11の時の、首都圏は交通機関が止まってしまい多くの市民の方が自宅を目指して徒歩で移動をしました。その中で困ったものは「トイレ」だったといわれています。当時は、幹線沿いのコンビニやGSスタンドが自発的にトイレを開放して支援をしたようですが、管理者の災害に対する思いの違いから、その支援には濃淡があったようです。そこで、コンビニやガソリンスタンドの連合体組織が「災害時帰宅支援ステーション」という取り決めを行って、支援をすることになりました。それを表したのがこれらのシンボルマークです。見たことがありますか？



次の災害では、果たしてコンビニが無事なのかどうかもわかりません。また、GSスタンドの数も10年前から比べると減っており十分に機能をするか心配です。そこで、発災初動期の災害救援ボランティアの活動の一つとして、組織として幹線道路の脇に「災害対応エイドステーション」の設営という分野の活動もあると思います。2016年1月23日のShakeOut訓練では、小田急電鉄相武台前駅・神奈川県警座間警察・座間市・ざま災害ボランティアネットワークが連携して「駅頭混雑回避訓練」に取り組みました。

2022年の1月23日の「座間市いっせい防災行動訓練（ShakeOut訓練）」では、座間市・NPOざま災害ボランティアネットワーク・（一社）座間青年会議所・小田急線座間駅前広場が連携して座間駅前「帰宅困難者エイドステーション開設訓練」を行います。災害時には、被災程度が軽度で済んだ場合、このような誰もが手伝えることができる活動があることを知ってください。

2022年1月23日 第10回 ShakeOut訓練

座間市・NPOざま災害ボランティアネットワーク・（一社）座間青年会議所
会場：小田急線座間駅前広場

「ざまにわ」

